

避難情報

警戒レベルを用いた避難情報

災害の危険が迫って居住者の避難が必要になった場合に、避難に関する情報が発令されます。各情報に応じた避難行動をとりましょう。

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保	緊急安全確保
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~			
<b>4</b>	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
<b>3</b>	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
<b>2</b>	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報 (気象庁)
<b>1</b>	今後の気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

### 行動を促す情報について

#### 緊急安全確保

既に災害が発生している、又は災害が発生直前であったり、確認できていないもののどこかで既に発生していてもおかしなく、安全な避難が難しい状況



- 命が危険な状況ですので、直ちに安全な場所で命を守る行動を取りましょう。
- 自宅の上の階や、崖から離れた部屋に移動するなど、少しでも身の安全を確保するようにしましょう。

#### 避難指示

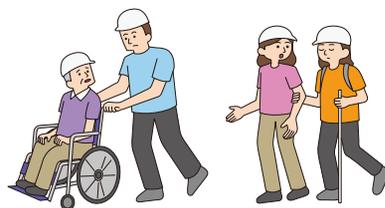
人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいはすでに人的被害が発生した状況



- 住民は直ちに避難しましょう。
- 万一避難する余裕がなければ、命を守る最低限の行動を取りましょう。

#### 高齢者等避難

人的被害の発生する危険性が高まった状況



- 避難するのに時間がかかる高齢者など災害時要配慮者やその支援者は避難を始めましょう。
- 通常の避難行動ができる人は、家族との連絡、非常時持ち出し品の用意など避難の準備を始めましょう。

### 自主避難について

#### 危険を感じたらすぐに避難しましょう

局地的集中豪雨のような、突発的な異常気象の場合には、役場からの避難情報が間に合わないケースがあります。その際には、身の危険を感じたら安全な場所にいる家族や知人の家、または町が開設する避難所等 (P.28) へ自主的に避難しましょう。